

産業用 IoT(IIoT) を実現するリモートイーサネット I/O

IT と OT をつなぐ Edge I/O

OPTO 22
50
★
ANNIVERSARY
OPTO 22
1974-2024

groov RIO の特徴

Universal I/O

アナログ信号またはデジタル信号の入出力用に 8 点、メカニカルリレー 2 点を利用可能。LED インジケーターによって電源、本体、ネットワーク、I/O の状況を確認できます。

groov
RIO

Collect and Publish the Data the Way You Want

システムとの連携

Node-RED、MQTT など groov RIO に組み込まれたソフトウェアを活用することで groov RIO 内の各種データをデータベースや HMI、SCADA、クラウドサービス等の様々な IoT プラットフォームに転送できます。

Security

ユーザ認証と権限の制御、データの暗号化、ファイアウォール、セキュリティ証明書の組み込み、VPN アクセスの提供などによる、セキュリティ対策が施されており、デバイスとデータの安全性を保ちます。

Goes Anywhere

- ・動作温度：-20°C～70°C
- ・電源：10-32VDC またはイーサポート 1 に POE 給電 (802.3af)
(参考) UL と ATEX 防爆認証取得



OPTO 22
Your Edge in Automation.™

ソフトウェア構成



groov RIO は OPC UA のサーバ機能を利用可能です。プラットフォームに依存することなく、デバイスとソフトウェア間のデータの送受信を行い、ドライバなしで I/O 情報を SCADA や HMI ソフトウェアに簡単に統合可能です。



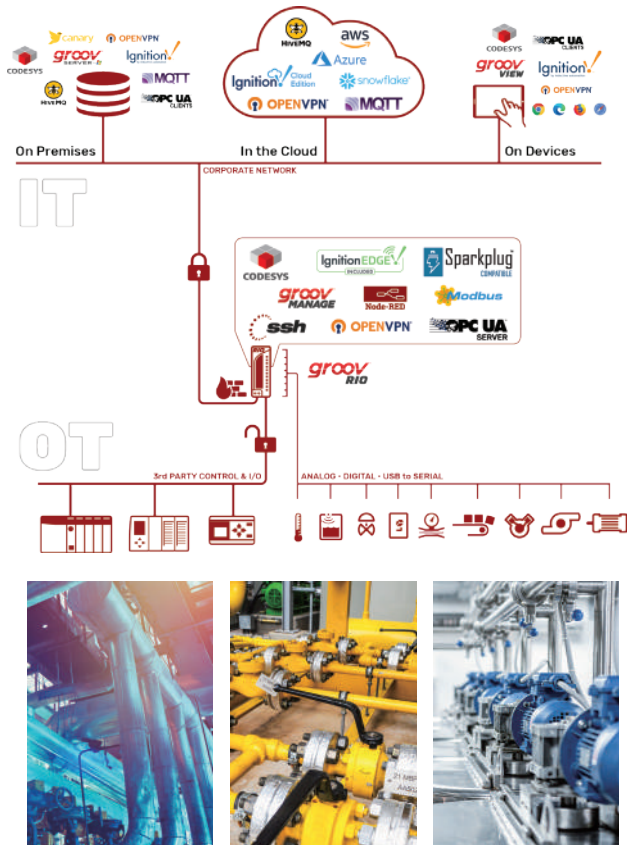
ラダー言語主体のアプリケーション開発が要望の際は、IEC 61131-3 準拠の CODESYS® システムのご利用が可能です。ラダー (LD) のほかファンクションブロックダイアグラム (FBD)、構造化テキスト (ST)、シーケンシャルファンクションチャート (SFC) によるプログラム開発が行えます。CODESYS Store のご利用で、機能の拡張も可能です。



データの収集、処理、IT システムへの連携といった IoT アプリケーションの開発ツールとして、ビジュアルプログラミング用のフローベースの Node-RED を搭載しています。Web ブラウザベースのフローエディターで開発が可能で、プログラム開発のエディタや IDE のインストールは不要です。また、サードパーティの機能の組み込みも容易に行うことができ、短期間で目的の IoT アプリケーション構築が可能です。



データ通信では MQTT プロトコルをサポートしています。MQTT は publish / subscribe データ配信モデルの軽量なメッセージプロトコルです。通信するデータ量は小さく、ネットワークの速度が遅い環境においてもデータ通信が可能です。



多様な信号、機能の組み合わせに対応する I/O チャンネル



入力 / 出力、アナログ / デジタル : 自由に組み合わせで割付可能

	区分	対応チャンネル	機能
入力	デジタル	<u>0 ～ 7 チャンネル</u> DC 入力、接点入力	<u>0 ～ 7 チャンネル</u> オン / オフ状態 <u>0・1 チャンネル</u> オン / オフラッチ、オン / オフ時間、周波数測定、 周期測定、パルス計測、カウンタ入力
	アナログ	<u>0 ～ 7 チャンネル</u> 電圧入力、ICTD 入力 <u>0 ～ 3 チャンネル</u> 電流入力、熱電対 / mV 入力	スケーリング、オフセットゲイン、最小 / 最大値、 平均値、状態表示
出力	デジタル	<u>0 ～ 7 チャンネル</u> DC 出力 (シンク型)	オン / オフ出力、オン / オフ時間、 パルス出力 / TPO、ウォッチドッグ出力
	アナログ	<u>4 ～ 7 チャンネル</u> 電圧出力、電流出力	スケーリング、ランプ制御、 クランプ制御、ウォッチドッグ出力、状態表示
	リレー (C 接点)	<u>8 ～ 9 チャンネル</u> ノーマルオープン、ノーマルクローズ	オン / オフ出力、ウォッチドッグ出力

OPTO22 正規代理店



〒160-0022 東京都新宿区新宿 1 丁目 1 番 14 号山田ビル 9F
TEL : 03-3350-5418 / FAX : 03-5361-8560 / E-Mail : OPTO22@aec.co.jp

MQTT/Sperkplug に関する情報は、日本アイ・ビー・エム株式会社及び米国 Cirrus Link Solutions, LLC の情報を参照しています。その他、本書に記載されている商品名、会社名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

2024.05.10